

～ エムズサイエンスの産学共同研究結果報告 ～
プラセンタ含有温感洗顔パック（ホットクレンジング）の
4週間使用による肌質改善効果を確認

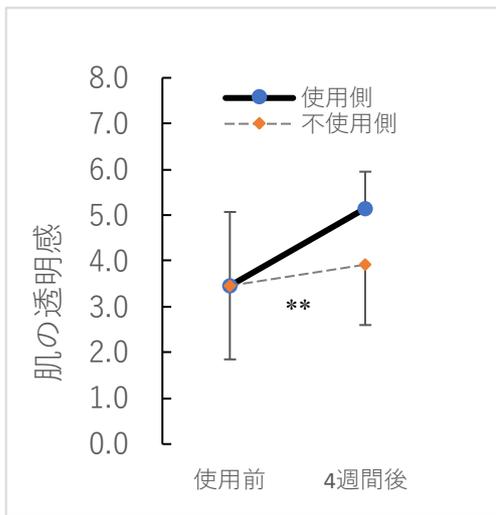
株式会社エムズサイエンス（本社：福岡市 社長：山口真）は、長年に渡り、シミやシワの改善を促すスキンケア製品の研究開発に取り組んでまいりました。この度、九州大学 農学研究院 高橋 美貴氏、近畿大学産業理工学部 生物環境化学科 大貫宏一郎氏と共同研究を実施。プラセンタ含有温感洗顔パック（ホットクレンジング）を4週間使用することにより、「肌の透明感」「肌のキメ」「肌の明るさ」「シワ」など、女性の肌質を改善することがわかりました。また、シワを改善する効果も認められました。本研究は、「薬理と治療 vol.49 no.4 2021」で発表されました。

研究の背景

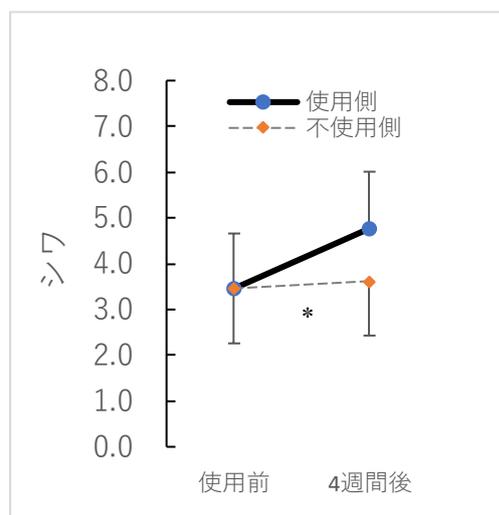
プラセンタ（胎盤）は、生薬では「紫河車（シカシャ）」と呼ばれ、滋養強壮、不老長寿の薬として古くから使用されてきた歴史があります。しかし、プラセンタの機能性物質や作用機序に関しては、いまだ明らかになっていないことも多いのが現状です。そこで、当社は、水溶性プラセンタエキスを配合した温感洗顔パック（ホットクレンジング）を使用することによる、肌質改善効果を調査するために、臨床試験を実施しました。

結果の概要

1. プラセンタ含有温感洗顔（ホットクレンジング）は、「肌の透明感」「肌のキメ」「肌の明るさ」「シワ」など13項目で肌質を有意に改善しました。



肌の透明感が改善



シワが改善

* $p < 0.05$ ** $p < 0.01$

2. プラセンタ含有温感洗顔は、目元の小ジワを有意に改善しました。

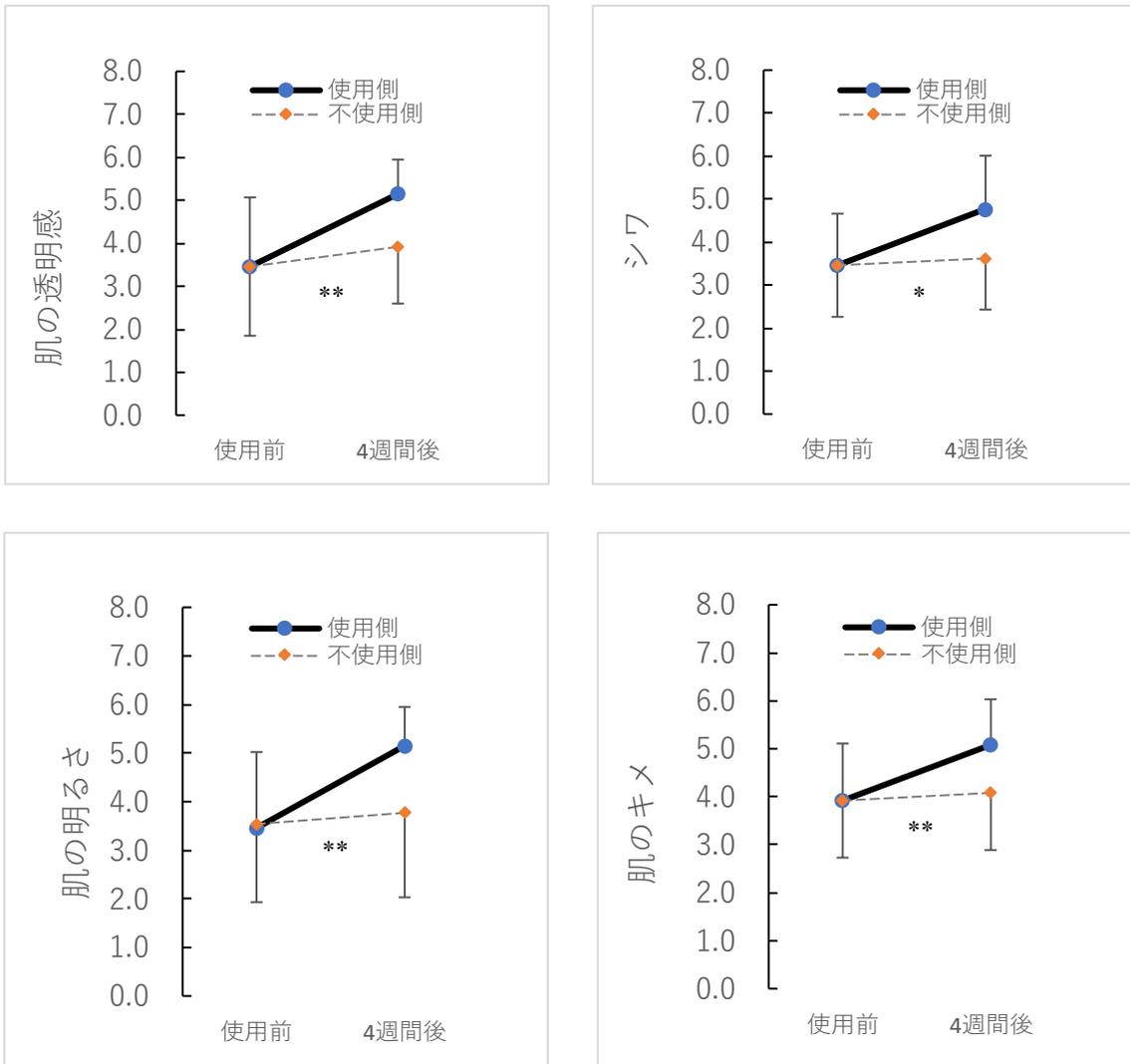
研究結果

1 試験品使用による肌の状態の改善

試験品による肌の状態に与える影響を調べるために、検査4週間前後における肌のコンディションについて、被験者にアンケートを行いました。試験品使用側の肌に関して、「潤い」「かさつき」「柔らかさ」「つや」「なめらかさ」「キメ」「化粧のり」「ハリ」「シワ」「透明感」「洗顔後のつっぱり感」「明るさ」「総合的な肌の満足感」の13もの項目で $p < 0.05$ の高い有意差で改善が認められました（図1、表1）

図1：試験品4週間使用による肌の状態の変化

1日2回試験品を顔の半分のみパックし、4週間使用前後の肌の状態の変化を、被験者のアンケートから判定した。いずれの項目においても試験品使用側に有意な肌の状態の改善が認められた。



エラーバー：標準偏差 * $p < 0.05$ ** $p < 0.01$ $n = 13$

表 1 : 試験品 4 週間使用による肌の状態の推移

		肌の状態		前後比較	群間比較
		使用前	使用 4 週間後	<i>p</i> 値	<i>p</i> 値
肌の透明感	使用側	3.46 ± 1.61	5.15 ± 0.80	0.004 **	0.022 *
	不使用側	3.46 ± 1.61	3.92 ± 1.32	0.11	
肌の明るさ	使用側	3.46 ± 1.56	5.15 ± 0.80	0.001 **	0.003 **
	不使用側	3.54 ± 1.61	3.77 ± 1.74	0.19	
シワ	使用側	3.46 ± 1.20	4.77 ± 1.24	0.017 *	0.033 *
	不使用側	3.46 ± 1.20	3.62 ± 1.19	0.17	
肌の潤い	使用側	4.08 ± 0.86	5.77 ± 1.01	< 0.001 **	0.001 **
	不使用側	4.08 ± 0.86	4.62 ± 1.12	0.012 *	
肌のかさつき	使用側	3.85 ± 1.14	5.77 ± 1.24	< 0.001 **	0.003 **
	不使用側	3.92 ± 1.12	4.38 ± 1.66	0.11	
肌の柔らかさ	使用側	4.46 ± 0.97	6.23 ± 1.09	< 0.001 **	0.002 **
	不使用側	4.46 ± 0.97	4.69 ± 1.32	0.27	
肌のつや	使用側	3.85 ± 1.07	5.08 ± 0.49	0.002 **	0.004 **
	不使用側	3.85 ± 1.07	3.92 ± 1.19	0.79	
肌のなめらかさ	使用側	4.23 ± 1.17	5.69 ± 0.63	0.001 **	0.004 **
	不使用側	4.23 ± 1.17	4.46 ± 1.33	0.082 †	
肌のキメ	使用側	3.92 ± 1.19	5.08 ± 0.95	0.005 **	0.012 *
	不使用側	3.92 ± 1.19	4.08 ± 1.19	0.17	
化粧のり	使用側	4.31 ± 1.03	5.46 ± 0.78	0.001 **	0.018 *
	不使用側	4.31 ± 1.03	4.69 ± 1.44	0.14	
肌のハリ	使用側	3.54 ± 1.45	5.15 ± 0.90	0.002 **	0.006 **
	不使用側	3.54 ± 1.45	3.77 ± 1.30	0.19	
洗顔後の つっぱり感	使用側	3.38 ± 1.45	5.92 ± 1.61	< 0.001 **	0.003 **
	不使用側	3.38 ± 1.45	3.62 ± 1.66	0.20	
総合的な肌の 満足感	使用側	3.69 ± 1.11	6.08 ± 0.76	< 0.001 **	< 0.001 **
	不使用側	3.77 ± 1.24	4.08 ± 1.50	0.17	

平均値 ± 標準偏差 † $p < 0.10$ * $p < 0.05$ ** $p < 0.01$

2 試験品使用による目尻のシワグレードの軽減

臨床試験 4 週間後における試験品使用側と不使用側の目尻のシワの変化についてそれぞれ解析したところ、試験品使用側でのみ有意なシワグレードの減少 ($p=0.028$) が観測されました (図 2、表 2)。また、使用側と不使用側のシワの変化について、群間比較を行ったところ、 $p=0.018$ と非常に高い有意差をもって使用側におけるシワグレードの改善が示唆されました。

図 2：試験品 4 週間使用による目尻のシワグレードの変化

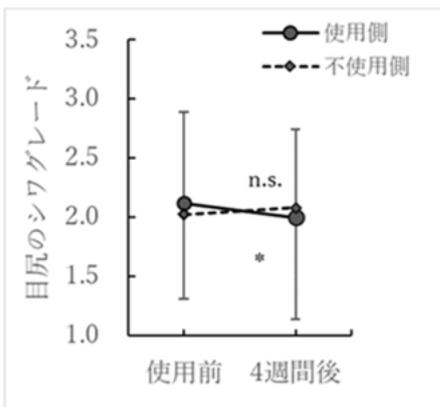


図 2：試験品 4 週間使用による目尻のシワグレードの変化

1 日 2 回試験品を顔の半分のみパックし、4 週間使用前後の目尻のシワグレードを、被験者の目尻の写真をもとに、日本化粧品学会のシワグレードを用いる単盲検試験により判定。試験品使用側のみ有意なシワグレード減少が認められた。

n.s. = 有意差なし

* $p < 0.05$

表 2：試験品 4 週間使用前後による目尻のシワグレードの変化

		目尻のシワグレード		前後比較	群間比較
		使用前	使用 4 週間後	p 値	p 値
目尻のシワ ($n=13$)	使用側	2.12 ± 0.77	2.00 ± 0.74	0.028*	0.018*
	不使用側	2.02 ± 0.81	2.08 ± 0.86		

平均値 \pm 標準偏差

* $p < 0.05$